

麻酔科 Anesthesiology

1. スタッフ構成

- 藤谷 太郎(副院長、経営改革推進本部副本部長、経営改革推進室長)

1986年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、集中治療、ペインクリニック

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定医・指導医、日本区域麻酔学会認定医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

- 奥田 康之(入院サポートセンター長)

1990年聖マリアンナ医科大学卒

専門分野:麻酔一般、集中治療

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定医・指導医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

- 中西 和雄(主任部長)

1991年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、産科麻酔

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

- 矢野 雅起(部長、集中治療センター長、集中治療室長)

1994年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、集中治療

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、日本集中治療医学会集中治療専門医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

- 程野 茂樹(部長)

2000年長崎大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、成人心臓麻酔、災害医療(DMAT)

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、日本周術期経食道心エコー委員会(JB-POT)認定医、日本医師会認定産業医、厚生労働省日本DMAT統括DMAT登録者、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

- 菊池 幸太郎(部長)

2005年高知大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、成人心臓麻酔

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医、日本周術期経食道心エコー委員会(JB-POT)認定医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

- 上松 敬吾(部長)

2009年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、集中治療、救急医療

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本救急医学会救急科専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

- 高柳 友貴(部長)

2010年徳島大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、成人心臓麻酔、集中治療

資格:日本麻酔科学会麻酔科専門医、日本周術期経食道心エコー委員会(JB-POT)認定医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

- 佐々木 知恵(部長)

2010年高知大学医学部卒

専門分野:麻酔一般

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定医・指導医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

- 相原 法昌(医長)

2013年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般

資格:厚生労働省麻酔科標榜医

- 中西 智紀(専攻医)

2020年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般

- 池田 彩夏(専攻医)

2020年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般

- 佐々木 凜来(専攻医)

2021年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般

- 清水 智恵子(診療委託)

- 鍋田 多恵子(診療委託)

- 原田 知実(診療委託)

- 越智 貴紀(診療委託)

- 高石 和(診療委託)

- 土手 健太郎(診療委託)

- 原田 雅光(診療委託)

- 品川 育代(診療委託)

2. 実績

2023 年の総手術件数は 7,717 件でした。麻酔科管理の手術件数は 4,987 件で、このうち 1,002 件(20.1%)が緊急手術でした。

■ 麻酔科管理手術件数

(1) 麻酔法別統計

麻酔法	2019	2020	2021	2022	2023
全身麻酔(吸入)	1,733	2,679	2,592	2,477	2,607
全身麻酔(TIVA)	558	1,214	1,314	1,377	1,508
全身麻酔(吸入)+硬・脊・伝	1,905	445	284	316	320
全身麻酔(TIVA)+硬・脊・伝	676	282	189	221	218
脊椎+硬膜外麻酔	4	4	4	2	3
硬膜外麻酔	1	2	3	3	3
脊椎麻酔	353	317	345	329	281
伝達麻酔	19	28	12	6	9

その他	34	70	46	39	38
合計	5,283	5,041	4,789	4,770	4,987

※2020年から日本麻酔科学会の麻酔法別統計において、伝達麻酔の定義が変更されたため、2020年以降の全身麻酔区分別の症例数が2019年以前と異なっています。

(2) ASA分類別統計

ASA 分類	2019	2020	2021	2022	2023
1	820	757	609	468	500
2	2,295	2,200	2,055	2,144	2,373
3	1,111	1,062	1,072	1,069	1,034
4	77	66	48	27	79
5	0	0	2	1	0
6	1	0	0	0	0
1E	170	160	162	97	121
2E	399	399	440	518	531
3E	290	264	291	335	256
4E	86	84	65	86	60
5E	34	49	45	25	33
6E	0	0	0	0	0

(3) 手術部位別統計

手術部位	2019	2020	2021	2022	2023
脳神経・脳血管	224	230	227	263	249
胸腔・縦隔	227	189	166	163	156
心臓・血管	452	378	467	444	491
胸腔・腹部	5	15	3	12	7
上腹部内臓	916	837	728	732	801
下腹部内臓	1,076	1,085	1,019	993	1,116
帝王切開	318	289	327	325	276
頭頸部・咽頭部	724	640	554	561	529
胸壁・腹壁・会陰	363	426	362	366	442
脊椎	305	358	342	330	342
股関節・四肢	640	551	551	552	540
検査	1	3	1	4	3
その他	32	40	42	25	35

(4) 年齢別統計

年齢	2019	2020	2021	2022	2023
～1 か月	15	20	11	19	16
～12 か月	54	36	45	41	34
～5 歳	233	209	148	124	169
～18 歳	224	239	220	203	209
～65 歳	2,294	2,664	2,098	2,075	2,128
～85 歳	2,196	1,626	2,032	2,012	2,166
86 歳～	267	247	235	296	265

3. 2024 年度目標

(1) 安全で良質な周術期の医療体制の確立

- ① 入院サポートセンターや院内の各部署と連携を図り、麻酔科術前診察を充実させて周術期の安全性の向上を図ります。

- ② 全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔や硬膜外麻酔法、各種の神経ブロック、生体情報モニタリング、エコーガイド下血管穿刺法、困難気道時の気道確保法等をガイドラインに沿った標準的な方法で実施し、安全な麻酔の提供に努めます。
- ③ 末梢神経ブロックや麻薬の持続鎮痛などを用いた多角的で良質な術後の痛みの緩和を提供します。
- ④ 術後の嘔気嘔吐対策を積極的に行います。
- ⑤ 集中治療センターや各診療科と連携して、手術症例の早期回復プログラムを促進し、早期の離床を図ります。
- ⑥ 重症症例の早期回復を目標に、集中治療センターと連携して人工呼吸、体外循環、血液浄化等の高度医療を提供します。

(2) 業務改善

- ① 働き方改革のA水準を遵守できるよう、労働環境の改善に努めます。
- ② 麻酔科診療および集中治療の標準化と効率化を図ります。
- ③ 麻酔科の限られた人的資源を有効に活用して、必要な手術を適切に受けることができ、かつ、緊急手術への柔軟な対応ができる体制を維持します。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 矢野雅起、土手健太郎、上松敬吾、藤谷太郎、中西和雄、入澤友美、品川育代、相原法昌、高柳友貴。日本の集中治療の源流。第50回日本集中治療医学会学術集会。京都（2023.3.2-4）
2. 五藤凌志、上松敬吾、土手健太郎、藤谷太郎、中西和雄、矢野雅起、入澤友美、品川育代、高柳友貴、相原法昌。長期ステロイド服用中の2型糖尿病患者に敗血症性ショックと正常血糖ケトアシドーシスを併発した1例。第50回日本集中治療医学会学術集会。京都（2023.3.2-4）
3. 上松敬吾、中西和雄、田中聖也、相原法昌、高柳友貴、品川育代、入澤友美、矢野雅起、藤谷太郎、土手健太郎。Lipid rescue! シヤント機能不全手術中に発症した局所麻酔薬中毒2症例。第50回日本集中治療医学会学術集会。京都（2023.3.2-4）
4. 土手健太郎、藤谷太郎、入澤友美、高柳友貴、佐々木知恵、武田泰子。Web サイト上における華岡流門人たちの痕跡。日本麻酔科学会第70回学術集会。神戸・Web開催（2023.6.1-3）
5. 矢野雅起、土手健太郎、奥田康之、上松敬吾、菊池由莉恵、程野茂樹。全国で華岡流全身麻酔下乳がん手術が何件行われたか？。日本麻酔科学会第70回学術集会。神戸・Web開催（2023.6.1-3）
6. 上松敬吾、矢野雅起、土手健太郎、五藤凌志、品川育代、藤谷太郎。肺高血圧合併収縮性心膜炎患者の胸腔鏡下心膜開窓術を、NO吸入とVA-ECMO補助下に施行した1症例。日本麻酔科学会第70回学術集会。神戸・Web開催（2023.6.1-3）
7. 相原法昌、中西和雄、奥田康之、程野茂樹、佐々木知恵、藤谷太郎。急性A型大動脈解離に対する緊急手術中にアンデキサネットアルファによるヘパリン抵抗性を生じた1例。日本麻酔科学会第70回学術集会。神戸・Web開催（2023.6.1-3）
8. 田中聖也、入澤友美、武田泰子、菊池由莉恵、高柳友貴、藤谷太郎。ホルミウムレーザー前立腺核出術(HoLEP)における仙骨硬膜外麻酔の有効性に関する検討。日本麻酔科学会第70回学術集会。神戸・Web開催（2023.6.1-3）
9. 牧野洋(浜松医科大学)、土手健太郎。Kentaro Takaoka: 日本にルーツを持つブラジルの発明家麻酔科医。日本麻酔科学会第70回学術集会。神戸・Web開催（2023.6.1-3）
10. 矢野雅起、藤谷太郎、上松敬吾、中西和雄、入澤友美、品川育代、相原法昌、高柳友貴、土手健太郎。当院手術室におけるアナフィラキシーショックの発症状況。日本集中治療医学会第7回中国・四国支部学術集会。岡山（2023.7.30）
11. 中西智紀、中西和雄、奥田康之、菊池幸太郎、佐々木知恵、藤谷太郎。傍気管囊胞を有する症例の全身麻酔中の気道管理。日本麻酔科学会中国・四国支部第60回学術集会。徳島（2023.9.9）
12. 池田彩夏、程野茂樹、矢野雅起、上松敬吾、相原法昌、藤谷太郎。既往

帝王切開後双胎妊娠・前置胎盤に対する帝王切開後の弛緩出血・出血性ショックで緊急子宮摘出となった一症例. 日本麻酔科学会中国・四国支部第 60 回学術集会. 徳島 (2023.9.9)

13. 橋本由莉恵、藤谷太郎、中西和雄、入澤友美、高柳友貴、武田泰子. 愛媛県の新型コロナ感染の流行と愛媛県立中央病院の麻酔診療への影響. 日本麻酔科学会中国・四国支部第 60 回学術集会. 徳島 (2023.9.9)
14. 上松敬吾. 急性骨髄性白血病患者の広範な両側肺胞出血による急性呼吸不全に対して筋弛緩併用経肺圧測定下人工呼吸管理を実施した 1 症例. 第 51 回日本救急医学会総会・学術集会. 東京 (2023.11.28-30)
15. 入澤友美、中西和雄、武田泰子、品川育代、原田知実、藤谷太郎. 腹腔鏡下婦人科手術における筋弛緩モニタリングの有無によるスガマデクス投与量に関する後ろ向き研究. 日本臨床麻酔学会第 43 回大会. 宮崎 (2023.12.7-9)

(2) 論文・著書

1. 武田泰子、高柳友貴、入澤友美、藤谷太郎. Programmed intermittent bolus infusion vs. continuous infusion for erector spinae plane block in video-assisted thoracoscopic surgery: A double-blinded randomised controlled trial. *European Journal of Anesthesiology* 40(2). 130-137 (2023.2)